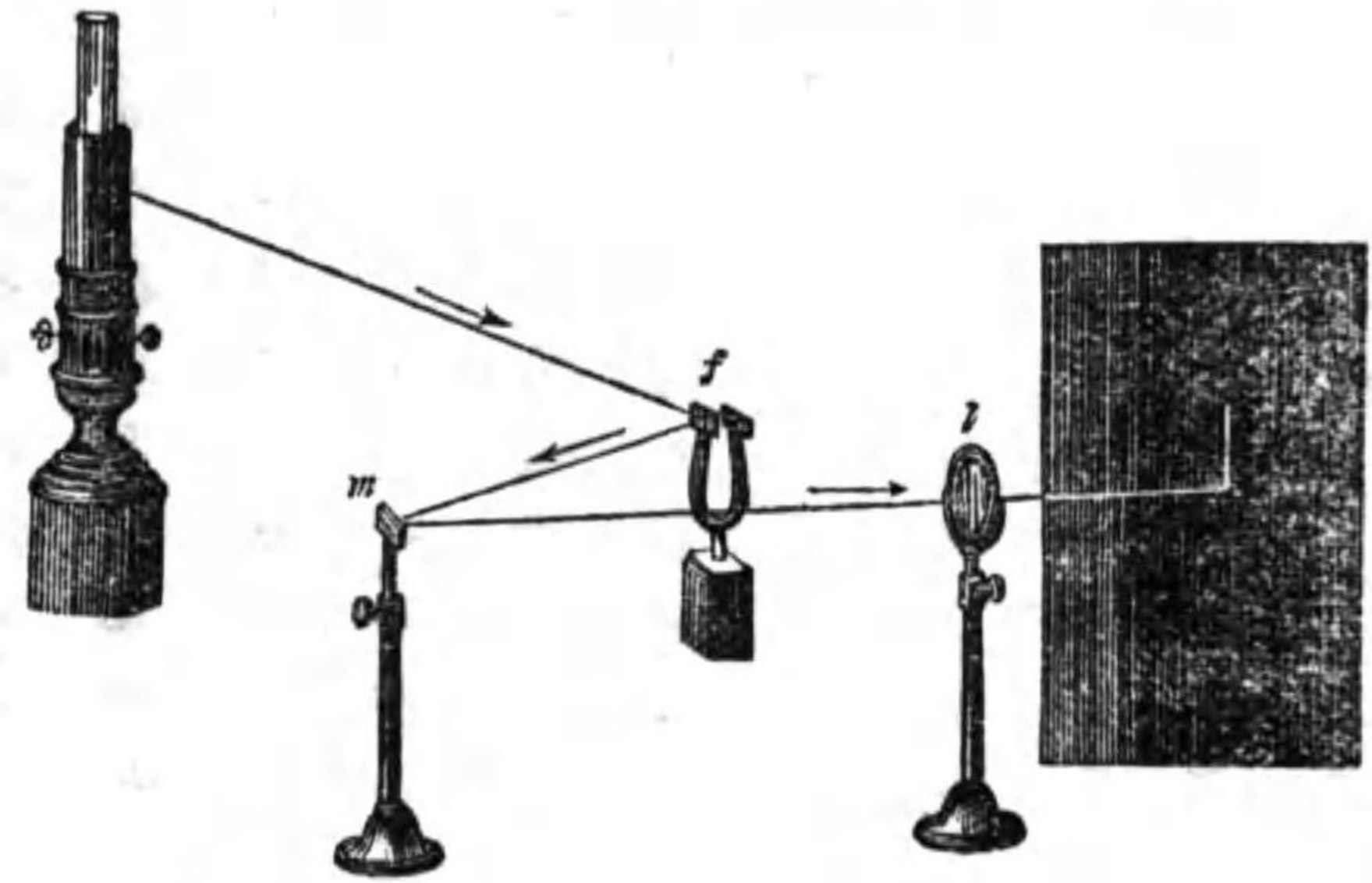


ニ小體ヲ附帶シ、以テ鏡ト相對峙スベカラシム。  
次ギニ墨色ノ暗蓋ヲ燈火ニ掩ヒ、此ノ蓋ニ一孔ヲ穿テ、光線ヲシテ此ノ



第五十五圖

孔ヲ出デ、音釵ノ臂上ナル鏡ニ觸レ、轉  
ジテ他ノ一鏡<sup>m</sup>ヲ照スルハ、<sup>m</sup>亦之レ  
ヲ反射シテ、凸蓋ノニ達シ、終ニ之レヲ  
透徹シテ光明ノ一小點ヲ壁上ニ映ズ。  
是レ其ノ元來、出起シタル燈蓋ノ孔像  
ナリ。例スルニ、音釵、靜止スルルハ、唯、壁  
上光明ノ一點アルノミナレ、音釵、振  
動スルルハ、之レニ附帶スル鏡、亦、音釵  
ト共ニ搖盪シ、鏡ノ振動スル毎ニ彼ノ  
壁上ニ映ズル光明點、上下ニ徘徊ス。但シ  
其ノ徘徊スルコト甚、迅速ナルヲ以テ、眼

ハ徒ニ光明ノ一線ヲ認ムベシ。其ノ理由、薪ニ火ヲ點シテ迅速ニ旋回ス  
ルルハ、縷縷トシテ接續スル火輪ノ繞ルコトアルヲ看ルモノト一般ナリ。  
然ルニ今、音釵、振動スルト同時ニ、之レヲ旋廻セバ、壁上光明ノ直線ナル  
モノ、變ジテ曲線ト爲ル。而シテ其ノ左右ニ迂餘、屈曲スルノ多少ハ音釵、  
振動ノ速度ト旋廻ノ速度トニ準ズ。以上説ク所ヲ以テ、音釵ノ振動ヲ摸  
寫シ、之レヲシテ吾人ガ肉眼ヲ以テ、明視スベカラシムル所以ヲ知ルベ  
キナリ。

26/12/38

Faint handwritten text on a grid background, possibly a ledger or account book.

む

[Redacted]	一
[Redacted]	二
[Redacted]	三
[Redacted]	四
[Redacted]	五
[Redacted]	六
[Redacted]	七
[Redacted]	八
[Redacted]	九
[Redacted]	十
[Redacted]	十一

くさむ。

以上、吸収すべくと

らむ。

十、太陽ヲ包裹ス

ル彩球(くろも

すひーや)ノ

すべくとらむ。

十一、星雲ノサベ

くさむ。

以上、輻射すべくと

らむ。

輻射及吸收之くらしむ



一、接続スルすべくとらむ。

二、水素ノすべくとらむ。(一層圍氣ノ壓力中)

三、水素ノすべくとらむ。(甚々低壓力中)

四、まねしむ瀛ノすべくとらむ。(長短二種ノ線ヲ示ス)

五、うぢゆーむ瀛ノすべくとらむ。(低温度)

以上、輻射すべくとらむ。

六、うぢゆーむ瀛ノすべくとらむ。(低温度)

七、一等星しりゆーすヲ圍繞スル瀛類ノすべくとらむ。

八、二等星我が太陽ヲ圍繞スル瀛類ノすべくとらむ。

九、三等星をりをすヲ圍繞スルすべくとらむ。

以上、吸収すべくとらむ。

十、太陽ヲ包裹スル彩球(くろもすひーや)ノすべくとらむ。

以上、輻射すべくとらむ。

以上、輻射すべくとらむ。

2/3x59



終